

Caremanagement Of Katsushika
広 報 け あ と も

発行

葛飾区介護サービス事業者協会
 居宅介護支援部会 広報委員会
 編集責任者 江畑 純子

介護保険課からのお知らせ

昨年12月、区役所より、「同居家族等がいる場合における訪問介護サービス及び介護予防訪問介護サービスの生活援助等の取り扱いについて」の厚労省の通達が、メールにて送信されました。

内容は、一部の市町村において、同居家族等がいる事のみを判断基準として、一律機械的に可否を決定してしまっているとの情報が寄せられたようですが、同居の家族等の有無のみを判断基準とするものではなく、やむを得ない事情など、個々の利用者の状況に応じて判断し、一律に機械的にならないようにとの事です。

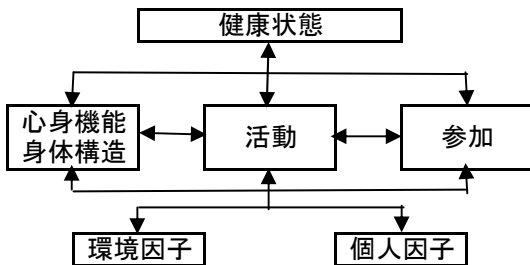
詳しくはメールにて、再確認して頂きたいと思えます。

1月研修会 報告

1月17日(木)14時より、講師に特別養護老人ホーム青海療育院 林 正氏をお迎えして、「自立支援についてICF(国際生活機能分類)を学ぶ」と題して、ICFに基づいたケアプランの立て方を研修して頂きました。

ICFが導入された背景、概念、特徴について、具体的な事例を交えながら、分かりやすくお話して頂きました。

アセスメントにより、『できる活動(能力)』と『している活動(実行状況)』を正しく把握し、その中で短期目標が、実行可能であること。そして、各サービスにおいても、直接的に働きかける要素への影響を見るだけでなく、相互による他要素への影響も含めて考え、サービス全体の効果、影響を把握しなければならぬと説明していただきました。



3月研修会 お知らせ

日時：平成20年3月19日(水) 14:00~16:00
 場所：男女平等推進センター 多目的ホール

先日お知らせしましたが、「相談援助技法について」と題して、講師に墨田うめわか地域包括支援センター 木村 靖氏にお願いしています。

介護支援専門員が、仕事をスムーズにこなしていくために、もっとも必要な技術と言われている技法について、しっかり学んでみましょう。

耳寄りお役立ち情報

今月は、地域包括支援センター水元 勅使河原 潤氏に、地域包括支援センターの活動について、お話を伺いました。以下、ご参照お願いします。

『地域包括支援センターでは、介護予防プランの作成以外にも様々な活動を行っています。その中に、「地域包括ケア」があります。

私たちは、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように支援しています。そのために介護保険を中心として、保険・福祉・医療の専門職相互の連携、さらにはボランティア等の住民活動などインフォーマルな活動を含めた、多様な資源をネットワーク化して、高齢者を継続的かつ包括的にケアする仕組みを作っております。

その一環として、介護支援専門員からの相談・支援を各地域包括支援センターで受付けております。相談内容によっては、地域包括支援センター主催で地域ケア会議(サービス担当者会議の拡大版のようなもの)を開催することができます。これまでも、保健所や葛飾区職員、民生委員などの出席を依頼して、高齢者を支えてきました。

困ったことがありましたら、地域包括支援センターに相談してみてください。』

～ 編集後記 ～

梅の花の便りとともに、「けあとも」第8号をお届けします。先日は冬の嵐のような「春一番」が吹き荒れました。その後も恐ろしいような強風続きで、皆様の毎日のお仕事が大変であったらとお察し致します。自転車の走行時などはくれぐれも気をつけて下さい。

さて今期も、研修会のご案内と共に、研修計画用のアンケートを送付させて頂きました。できる限り皆様のご希望を反映した研修会が行えるようにと考えております。

お忙しい中、大変お手数をおかけしますが、アンケートにご協力をお願いします。(江)